

2021年4月1日～2021年9月30日の間に

## 当院において院外処方せんを発行された方およびそのご家族の方へ

—「保険薬局からの服薬情報提供書（トレーシングレポート）の  
効果的な運用体制構築を目的とした基盤調査」へご協力のお願い—

研究機関名 岡山大学病院

研究責任者 岡山大学病院 薬剤部 教授 座間味 義人

研究分担者 岡山大学病院 薬剤部 副薬剤部長 村川 公央

### 1) 研究の背景および目的

薬局・薬剤師は、患者の皆さまが安心して薬の治療が続けられるように、患者の皆さまが来局して薬を受け取られるときだけではなく、薬を服用している期間も「薬が正しく服用できているのか?」、  
「薬による副作用はでていないか?」、さらには「薬の効果は表れているのか?」などを確認しています。このように、薬局・薬剤師は、服用している期間を通じて、患者の皆さまが安心できる最適な薬の治療を提供できるように努めています。

薬局・薬剤師は、患者の皆さまから知り得た薬に関する情報の中で、「薬の治療効果が上がる」、または「薬による副作用を防ぐことができる」などの患者の皆さまの利益に繋がるような情報を、主治医に対して「文書（服薬情報提供書）」を用いて報告しています。この文書（服薬情報提供書）の内容は、患者の皆さまが安心して安全な薬の治療を続けていただく上で必要となる貴重な情報であり、この情報は上手く活用していくことでさらなる薬の治療の質が上がることに繋がると考えられます。そこで、今回、患者の皆さまがさらに安心して安全な薬の治療を続けていただけるような体制を整えることを目的として、薬局・薬剤師から情報提供された文書（服薬情報提供書）の内容を調査することにしました。

### 2) 研究対象者

2021年4月1日～2021年9月30日の間に岡山大学病院で院外処方せんを発行された方の中で、院外処方せんを応需した保険薬局から医療機関への服薬情報提供書を提出された方を対象にします。

### 3) 研究期間

倫理委員会承認後～2025~~4~~年3月31日

### 4) 研究方法

院外処方せんを応需した保険薬局から服薬情報提供書を、研究者が診療情報をもとに記載内容、処方内容、さらには薬学的な知見に基づく対応状況などを分析し、服薬情報提供書の活用方法について調べます。

### 6) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しな

いようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- 1) 患者基本情報：年齢、性別
- 2) 処方内容
- 3) 診療科名
- 4) 服薬情報提供書の内容

#### 8) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院薬剤部で保存させていただきます。

電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

#### 9) 研究計画書および個人情報の開示

患者さまのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、患者さまが希望される場合にのみ行います。患者さまの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会等で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、患者さまの情報が研究に使用されることについて、患者さまもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

#### <問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 薬剤部

氏名：村川公央

電話：086-235-7642（平日：8時00分～17時00分）